

庁鼻和城跡(深谷市)

こばなわじょうあと

築城年代:室町時代、築城者:上杉憲英(のりふさ)

正面は国済寺で庁鼻和城跡(深谷市指定文化財)のエリアとなっている



標柱には「史蹟 上杉憲英公墓」とある



これは黒門(総門)/江戸時代建立/深谷市指定文化財



右手の標柱に「深谷市指定文化財 国濟寺黒門」とある





左手に国済寺の説明板が立っている



劣化していて良く読めない



これは三門/江戸時代建立/深谷市指定文化財



右手の標柱に「深谷市指定文化財 国濟寺三門」とある



右手前方には鐘楼が見える



正面は本堂



境内側から見た三門



右手に斥鼻和城跡の説明板が立っている



「深谷新八景」となっているようだ



深谷上杉氏の始祖、上杉憲英がこの地に館を築き、その後三代に渡って居館とされたという/四代の房憲は深谷城を築いてそちらへ移り住み、後に当地に上杉氏の菩提寺として国済寺が建立されたようだ



国済寺

関東管領上杉憲頭は十三世紀末、新田氏をおさえるため、この地序鼻和に六男の上杉蔵人憲英をつかやし館を築かせました。憲英はのち奥州管領に任せられ、以後憲光・憲長と三代この地に居住しました。館は一辺一七〇米の正方形で、外郭を含めると二八ヘクタールあります。康応二年(一三九〇)高僧峻翁令山禅師を招いて、館内に国済寺を開きました。本堂裏に当時の築山と土塁が残っています。天正十八年(一五九〇)に徳川家康から寺領三十石の朱印状を下付されています。文化財に令山禅師と法灯国師の頂相、黒門、三門、上杉氏歴代の墓などが指定されています。

昭和五十七年三月 深谷上杉顕彰会

本堂



これは園通客





これは鐘楼





扇垂木となっている



これは鎮守社





正面奥の建物が位牌堂兼集会施設の「芹鼻和館」で、その建設に際して発掘調査が行われている



さて、本堂の裏手に回ろう/これは旧本堂の鬼瓦のようだ



前方は上杉氏歴代の墓所/深谷市指定文化財



「史蹟 上杉憲英公墓」と記された標柱が立つ/正面が上杉憲英公墓



中央の宝篋印塔がその墓である/埼玉県指定旧跡



左右は上杉氏一族の供養塔





背後から見た上杉氏歴代の霊廟



さて、この左手(東側)に目をやると大きな高まりがあった



上に登ってみる



東方向を見たところ



北側から見る



少し退いて見る/これは土塁でなく当時の築山であろうという



東側から見る



近づいて見たところ/何とも言えない感じ



さて、この右手(北側)に目をやると寺域の北側に沿って高まりが続いている



その高まりを東側から西方向に見る/これは明らかに土塁で右側は堀跡であったようだ



土塁上から西方向を見る



土塁上を西方向へ進む/土塁は西側隅から左手に折れているの見える



振り返って東方向を見る



土塁を左手に下りて東方向を見たところ



寺域内から東方向を見たところ



西側の隅から南方向へ折れている土塁を見たところ/少し進んだところで消滅している



土塁を右手に下りて南方向を見たところ



西側の土塁から東方向へ寺域内を見る/左手が北側の土塁、右手は先ほどの築山の名残り



さて、これは国済寺のすぐ隣にある「村社 日吉大神荒神社」/奥の木々は国済寺の境内





社殿



社殿改築記念碑

大里郡長從六位勲六等

秋葉保雄

篆額

日吉大神荒神社は 大里郡幡羅村大字国済寺の鎮守なり 大山咋命を主神とし
 相殿に火産靈命を祀る 口碑に此地元麻鼻祖郷と称いし頃 深谷城主上杉陸奥
 守憲英国済寺を創建するに 當里其境域に近江国日吉の社より分祀せしを 後
 年全(同)所荒神社を合せ祀りきと傳う 明治七年五月村社に列す 旧殿いと
 狭く便よからぬふしもあれば 今年畏くも皇太子殿下御成婚記念の事業として
 氏子崇敬者胥謀り 同心協力多くの資金と労力とを寄進して社殿改築の工を竣
 へぬ あわれ神は人の敬によりて威を増し 人は神の徳により事運を添うると
 いへり 人々が心を尽くし 力を極たるこの新宮殿は常盤堅盤に動きなく 此
 里の中心と仰ぎ待ちて 廣き厚き御恩頼に浴し奉るべく祈り このわざに動し
 み仕奉り あななひまつれる人々が芳き功蹟も 弥遠長に朽ちせざるべし

大正十三年十月十九日

遷座祭日

縣社 榆山神社社司 柳 瀨 禎 治 謹誌
 幡羅尋常高等小学校長 持 田 武 敬書

篆 額

篆書体で書かれた額。「社殿改築記念碑」

荒 神

民俗信仰の神の一。龍の神として祀られる三

大山咋命

(「大山咋神」)

日枝神社(後、日吉神社に改名)・松尾神社

の祭神。古事記では大年神の子とされる。

空荒神。屋外に屋敷神。同族神・部落神とし
て祀る地荒神。牛馬の守護神として祀られる
荒神に大別される。

火産靈命

(「火結神」)

祝詞にみえる火の神。いざなぎ・いざなみの

胥 謀

胥謀。集まりあつて相談すること。

二神の子。

常盤堅盤に動きなく

麻鼻祖郷

当地の鎌倉・室町時代までの古地名。麻鼻和

人々が心を尽くし、力を出し合つて改築され
たこの新宮殿が、未来永劫にわたつて磐石に
子々孫々にまで永続されるようにとの意。

・麻鼻・固斤鼻等とも書き、「こはなわ」と

あななひまつれる

読む。地形から荒川扇状地末端に位置し、低

「あななひ」は、助ける・補助するというこ
と。資財・労力を出し合つて社殿改築につく

地から見ると鼻のように小高いところ、ある

し、神をまつた人々のこと。

いは小埜(小高い丘)の意味。

鎌倉時代、鎌倉御家人麻鼻和太郎の居館が

あり、その跡に室町前期上杉憲英公が麻鼻

和城を築いた。因みに、深谷の地名は上杉

氏五代目の憲房公が深谷城を築いてからの

ことである。

さて、ここは城域の北西隅で土塁が残っていたようだが現在はこの状態/左手に説明板、右手に標柱が立っている



標柱には「深谷市指定文化財 斤鼻和城跡北西隅外廓土塁」とある



廂鼻和館 北西隅外郭土塁

関東管領上杉憲顕は新田氏をおさえるため、六男の上杉憲英がここに館を築き、俊輔、令山、禅師を招いて国清寺を開き、憲光、憲長とこの地に居住し、房憲のとき深谷城を築き移転しました。ここ館あとは国清寺を中心に面積は二八ヘクタールに及び広大なもので、その範囲を示す地点は南に物見櫓跡、北東隅起点、ここ北西隅外郭土塁があります。ここは上野国から鎌倉へ通じ、台地上の末端にあり重要な位置でした。北国紀行に「ちよりのはなといふ所たちいでて、行末は知れぬ枯野を」とあり、広漠たる武蔵野の原野であったことが紹介されています。

昭和五十八年一月

深谷上杉顕彰会

少し退いて見る



そしてここは城域の南に位置する物見櫓跡があったとされる場所



現在は結婚式場の敷地となっており、消滅してしまっているようだ



さて、この左手へ進んでみる



少し進んで振り返ったところ/この竹林に沿って高まりがある





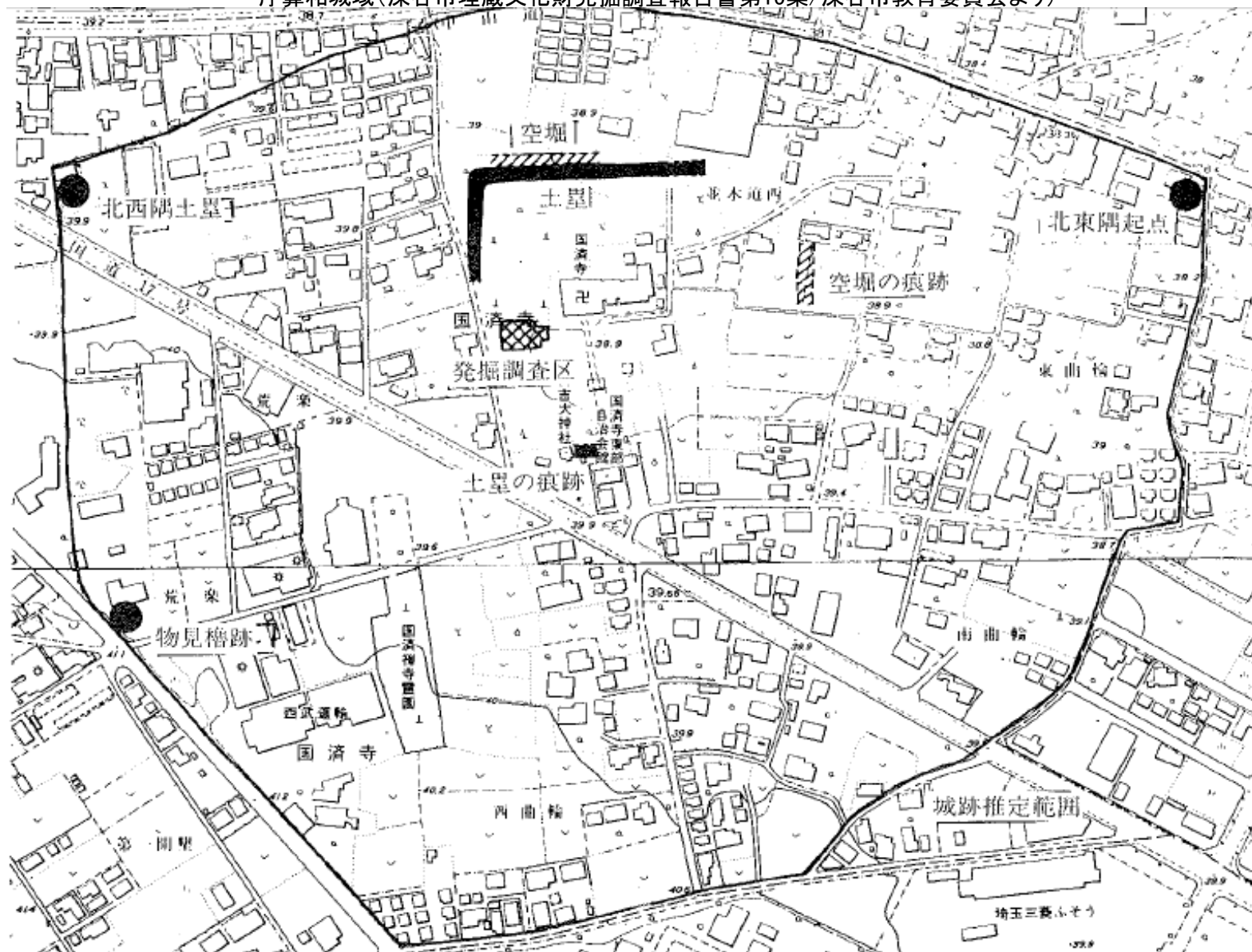
これは土塁の名残りであろうか



左手を見る



庁鼻和城域(深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第15集/深谷市教育委員会より)



また近くにはさまざまな石造物があった



道祖神



自性院六地藏尊



国濟寺境内にも多数の石造物がある











参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/109kobanawa/kobanawa.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/hukayasi.htm#kobanawa>

http://castle.slowstandard.com/08kanto/11saitama/post_621.html

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/subdir-siropage/kobanawaiou.html>

<http://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/kobanawa-jyo/>

http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meijyou/12_Saitama/kobanawa/index.html

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/saitama.fukaya.html>

<http://outdoor.geocities.jp/yamazirotokotoko/saitama/cyouhanawa.html>

http://iseki-database.city.fukaya.saitama.jp/data/report/60F_15.pdf#search=%E5%BA%81%E9%BC%BB%E5%92%8C%E5%9F%8E%E8%B7%A1%E3%80%81%E6%B7%B1%E8%B0%B7%E5%B8%82

<http://ameblo.jp/napo-jou/entry-11637072022.html>

<http://fukapedia.com/wiki/%E5%BA%81%E9%BC%BB%E5%92%8C%E5%9F%8E>

http://ja1sla.blogzine.jp/kanplog/2010/09/post_57be.html

<http://hanarai.jugem.jp/?eid=181>

<http://ameblo.jp/kohblog0623/entry-11467330690.html>

http://outdoor.geocities.jp/kojyo_annai/3_kanto/9_saitama/kobanawa_shiro.html

http://www.tesshow.jp/saitama/fukaya/temple_kokusaiji_kokusaiji.html

<http://www.education.fukaya.saitama.jp/syakai/4.uesugisi.htm>

<http://saipo.net/area/fukaya/20040007.html>

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/jinja/t5/koku.htm>

